

みずほCustomer Desk Report 2019/10/16号(As of 2019/10/15)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	公示仲値				
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	108.38	1.1026	119.49	1.2605	0.6775
SYD-NY High	108.90	1.1046	120.22	1.2800	0.6788
SYD-NY Low	108.16	1.0991	119.12	1.2602	0.6743
NY 5:00 PM	108.86	1.1034	120.11	1.2787	0.6751
NY DOW	27,024.80	237.44	日本2年債	-0.2800	1.00bp
NASDAQ	8,148.71	100.06	日本10年債	-0.1700	2.00bp
S&P	2,995.68	29.53	米国2年債	1.6231	2.77bp
日経平均	22,207.21	408.34	米国5年債	1.5979	4.37bp
TOPIX	1,620.20	24.93	米国10年債	1.7701	3.68bp
シカゴ日経先物	22,540	530	独10年債	-0.4185	3.90bp
ロンドンFT	7,211.64	▲ 1.81	英10年債	0.6900	5.40bp
DAX	12,629.79	143.23	豪10年債	0.9995	▲4.55bp
ハンセン指数	26,503.93	▲ 17.92	USDJPY 1M Vol	6.23	▲0.03%
上海総合	2,991.05	▲ 16.84	USDJPY 3M Vol	6.24	▲0.01%
NY金	1,483.50	▲ 14.10	USDJPY 6M Vol	6.56	▲0.01%
WTI	52.81	▲ 0.78	USDJPY 1M 25RR	-1.10	Yen Call Over
CRB指数	174.75	▲ 0.24	EURJPY 3M Vol	6.78	0.11%
ドルインデックス	98.29	▲ 0.17	EURJPY 6M Vol	7.08	0.05%

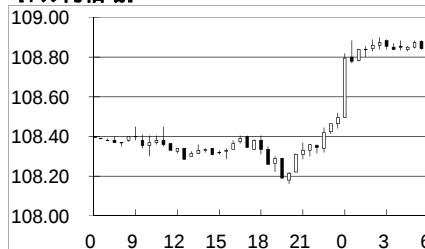
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
10月15日	09:30	日 黒田日銀総裁講演	「物価のモメンタムはより注意が必要な情勢」	
	10:30	中 CPI/PPI(前年比)	9月 3.0% / -1.2%	2.9% / -1.2%
	13:30	日 鉱工業生産(前月比/前年比)・確報	8月 -1.2% / -4.7%	-
	18:00	独 ZEW調査(現状/期待)	10月 -25.3 / -22.8	-23.6 / -26.4

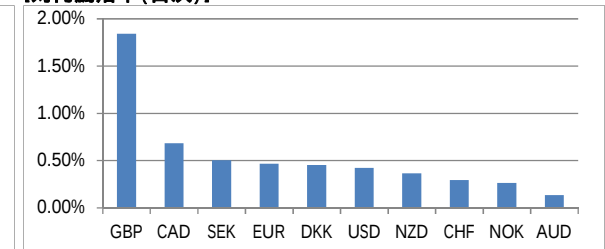
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
10月16日	17:30	英 CPI(前月比/前年比)	9月 0.2% / 1.8%	0.4% / 1.7%
	18:00	欧 CPI(前月比/前年比)	9月 0.2% / 0.9%	0.1% / 1.0%
	20:00	米 MBA住宅ローン申請指数	-	5.2%
	21:30	米 小売売上高(前月比)・速報	9月 0.3%	0.4%
	22:00	米 エバンズ・シカゴ連銀総裁 講演	-	-
10月17日	02:00	米 カプラン・ダラス連銀総裁 講演	-	-
	03:00	米 ベージュブック公表	-	-
	04:00	米 ブレイナードFRB理事 講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【マーケットインプレッション】 合意なき離脱回避がメインシナリオではあるが

ボンドがボラティルな動きを見せている。昨晩は英国のEU離脱問題担当のバルニエEU首席交渉官が「今週中に離脱案で合意する可能性」との発言にボンドドルは一時約5カ月ぶりの高値となる1.2800ドルを付けたが、アイルランド首相の慎重な発言やEU高官による早期合意期待への牽制発言に、値を戻す荒れた動きとなった。離脱期限の再延期ムードが一転、17～18日の欧州首脳会議での合意実現と10月末の離脱に向け、ジョンソン首相が南北アイルランド間で税関検査を回避、北アイルランドが関税を代行徴収する妥協案を提示したとみられる。この場合、北アイルランド以外の英国から流入した物品が北アイルランドに留まる場合、輸入業者は関税の納付義務を免除され、北アイルランドを経由してアイルランドに流入する場合、北アイルランドが代行徴収した関税はアイルランドが受け取る事となる。英議会在合意を受け入れるには、北アイルランドの地域政党と保守党内の強硬離脱派の多数が賛成に回り更には、労働党の離脱支持議員の一部の協力が必要であり、協議の行方は依然不透明であり、合意案を英議会が受け入れるか予断を許さない展開となっている。これまでジョンソン英首相は「合意があるうがなかるうが10月31日に離脱」との強硬な姿勢を示しており、EUサミット後は「合意なき離脱」への懸念が再燃する可能性も想定しておきたい。いずれにせよ英国で成立した離脱延期法の規定により、ジョンソン首相はEUと合意できなかった場合は10月19日までに離脱延期をEUに申請しなければならず、離脱延期を申請したとしても、EUがそれを認めるとは限らないが、最終的には離脱期日は再び延期となり、「合意なき離脱」は回避される可能性は高い。EUとしても「合意なき離脱」は特に景気が低迷している現在においては、英国だけでなく、ユーロ圏も景気後退に陥る可能性が高まる。フランス等は延期に難色を示しそうではあるが、本音では責任を負わされたくはないと考えるのが自然か。合意なき離脱回避という可能性がメインシナリオとは考えておきたいが、下振れリスクとして引き続き警戒は緩められず、リスクヘッジの重要性は増していると考えたい。(関)

東京 東京時間のドル円は108.38レベルでオープン。日経平均株価が堅調に推移する中、ドル円は一時108.45をつけるものの、米金利が低下する中、上値は限定的。終日狭いレンジでの推移となり、結局108.33レベルで海外時間に渡った。

ロンドン ロンドン市場のドル円は、108.33レベルでオープン。「中国は500億ドル相当の米農産物輸入に対して、米国に関税撤廃を求める」との報道を受けて、先週発表された「第1段階」の通商合意署名が難しいとの見方が強まり、108.16まで下がる場面もあったが、結局ほぼ変わらない108.33レベルでNYに渡った。ボンドドルは、1.2665レベルでオープン。朝方、EUA/EI交渉官がブレグジット合意への期待をコメントしたことと1.2699まで買われるが、その後合意のタイムリミットを当日中と発言したとの報道で1.2608まで下落。その後もみ合いし1.2629レベルでNYに渡った。英6-8月の雇用統計は全体的に予想を下回ったが反応はなかった。(ロンドン・フリー 00531 444 179 神田)

ニューヨーク NY市場のドル円は108.33レベルでNYオープン。朝方は「IMFが今年の世界成長予想を10年ぶりの低水準となる3%に引き下げ」とのヘッドラインが流れたが、ドル円の反応は限定的だった。また、主要な米経済指標発表が予定されていない中、米金利の低下幅縮小を手掛かりに前日高値(108.47)近辺まで上昇。その後、関係者の話として「英国とEUの交渉担当者が離脱合意の草案に近づいている」との報道が伝わったことから、ボンド円の上昇に連れ高となり、108.88まで上昇。午後はブレグジット交渉の進展期待を背景に、リスク選好ムードが広まる中、108.80近辺で底堅く推移。108.90まで高値を更新する場面もあったが、109円手前では売り意欲も見られる中、更なる上値は限定され、結局108.86レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは、1.1046まで上昇するが、50日移動平均線(1.1041)近辺では戻り売りに押され、1.1013まで反落。その後ユーロ売り優勢な展開が続き、1.1003まで下落し、1.1005レベルでNYオープン。朝方は米金利上昇を受けて1.0991まで下落。その後、英国とEUがブレグジット合意に近づいたとの見方に上昇したボンドに連れ高となり、1.1045まで上昇。買い一巡後、1.1016まで反落するが、ユーロ円の堅調推移にサボットされる中、1.1030近辺でもみ合い、1.1034レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 関・玉井 TEL:03-3242-7070 FAX:03-3211-5825 LDN 00531-444-179 NY 00531-113-682

	竹内	加藤	関	光石	岡本	上野	原田	玉井	森谷	ブル	ベア
Today	ベア	ブル	ベア	ブル	ベア	ブル	ブル	ベア	ベア	4	5
Week	ベア	ベア	ベア	ブル	ブル	ブル	ブル	ブル	ベア	5	4